
スマートスクール実現モデル校 実践発表会

— 一人ひとりが輝く学校 —
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」～

令和5年11月2日
大阪狭山市立東小学校 スマスクW.G

よろしくお願ひします

13:20~13:50 全体会

14:00~ 授業参観 スマスクW.Gの教室(他の学年の授業も参観いただけます)

2年5組 生活科「もっとしりたい たんけんたい」

3年5組 国語「自分の考えを伝えよう」

6年2組 総合的な学習の時間「東SDGsプロジェクト」

15:05~ ご講演(大阪大学大学院 西森年寿教授)

16:00~ 分科会

低学年 3年1組(2年5組の授業について)

中学年 3年5組(3年5組の授業について)

高学年 3年3組(6年2組の授業について)



大阪狭山市立東小学校

学校教育目標

一人ひとりが輝く学校

学級編成

1～4年生 5クラス

5・6年生 4クラス 計 約920名

(支援学級4クラスを含む)



スマスクと校内研究の関わり

児童の実態把握

- ・学調結果、全国の平均より上
- ・記述問題に弱い(情報不足、文末表現)
- ・学力の二極化

タブレットを活用した授業が好き...9割以上

校内研究のねらい(つきたい力)

- ・主体的な学び(自律的に探究する態度)
- ・自分に合った方法で学ぶ(自己調整力)
→タブレット、図書、インタビューなど

自律的に探究する態度の育成

スマートスクール実現モデル校

- ・デジタルシティズンシップに則った
ルールづくり
- ・ICT機器を活用した授業づくり

ICT機器を活用して学力向上

校内研究

研究テーマ 「自分に合った方法で学ぼう～問い続け、共に学ぶ～」

→ 自律的に探究する態度の育成

(学習内容だけでなく) 学習方法を意識させる

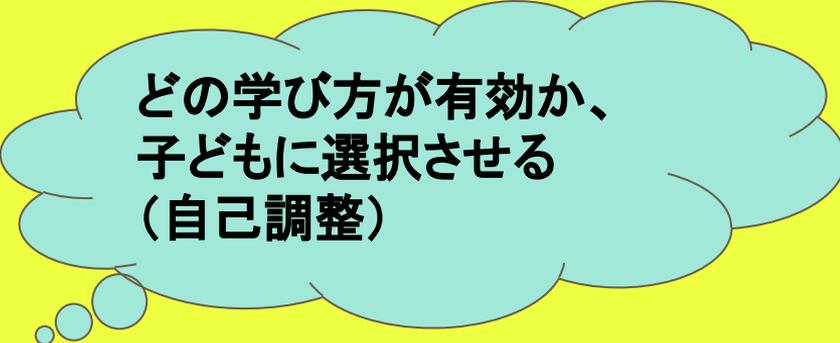
学び方を教える

学習形態

個人・ペア・グループなど

学習方法

インターネット、図書、インタビューなど



どの学び方が有効か、
子どもに選択させる
(自己調整)

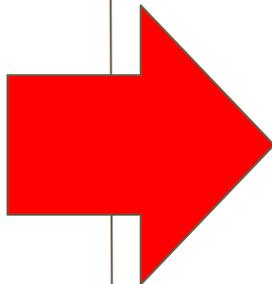
タブレット活用で気を付けるところ



書く力の低下

考える時間の減少

楽だから好き



じっくり考える時間
の確保

情報が

よくわかるから好き

伝わるから好き

情報収集
情報整理



たくさん取り入れているクラスほど、、、

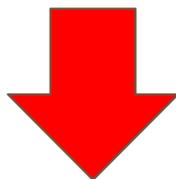


活動の切り替えに時間がかかる



授業に関係ないことをしている

たくさん取り入れて



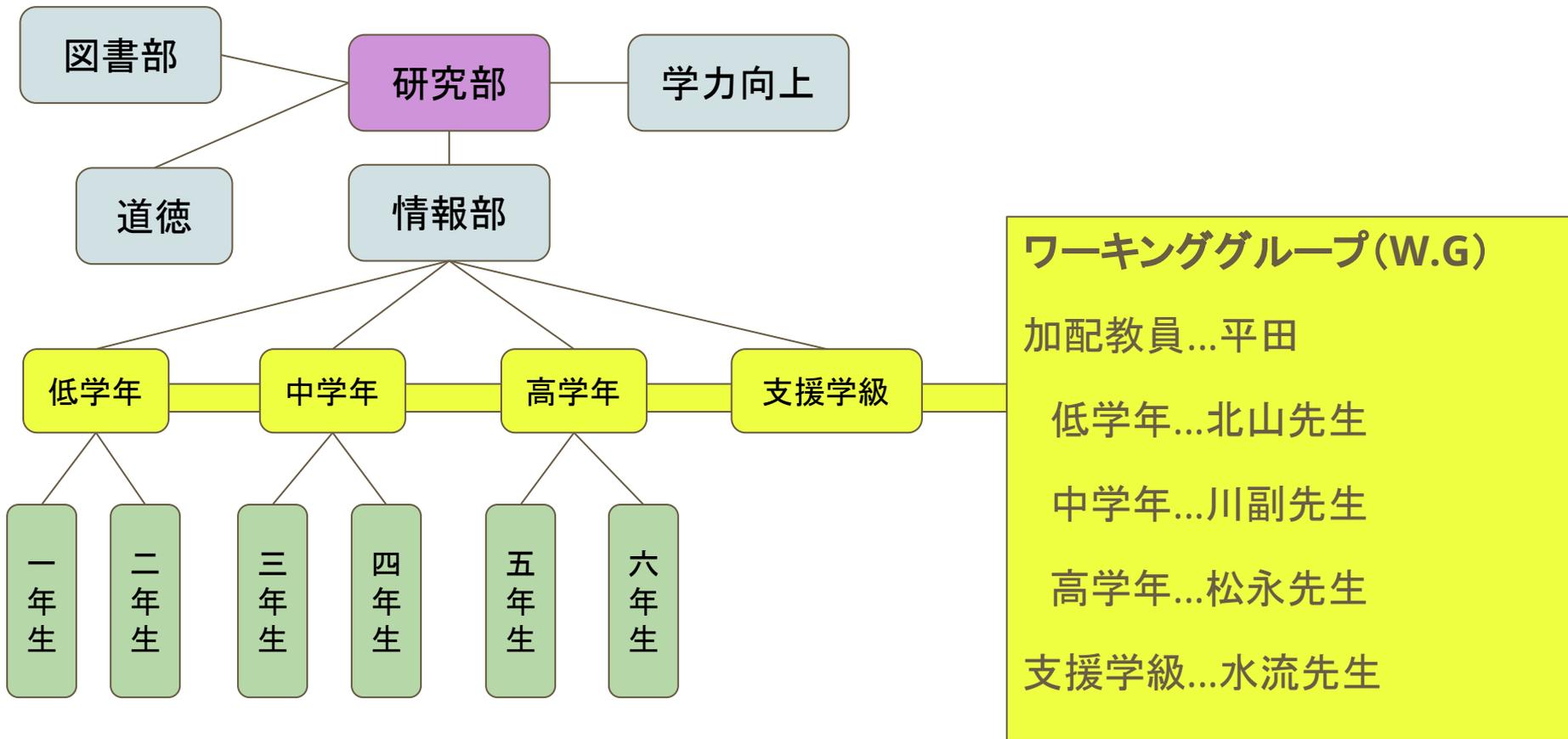
物珍しさをなくす

身近にあって
当たり前の

文房具に



スマートスクール実現モデル校(W.Gを配置)



W.Gでの検討事項

実態に基づいた 課題設定の検討

- ・基本操作
- ・ルール作り
- ・宿題
- ・夏休み課題
- ・子ども同士の
教えあい企画

実践事例や 困りごとの共有

- ・授業案(したいこと)
- ・実践共有(ドライブ)
- ・MEET朝礼
- ・当番
- ・係活動
- ・Wi-Fi環境

業務改善

- ・会議資料
- ・職朝記録
- ・情報共有の
デジタル化
- ・リアルタイムで
の協働作業

スマスクで東小学校がめざすところ

「1人の百歩より、100人の一歩」

(文部科学省有識者インタビューより永守重信さんの言葉)

東小学校に1人1台タブレットが導入されてから3年。今年度で4年目に突入しました。スマスクモデル校を受ける前から、松永先生と川副先生が中心になってICT機器を活用した授業づくりを進めて下さっています。この先生方の取組みはICT機器が苦手な先生方にとってみれば、百歩先に見えているかもしれません。ですが、得意な先生が在籍していることは間違いなく強みです。先生たち全員が子どもたち主体で、対話的な授業づくりができるようにスマスクWGで提案、サポートさせていただきます。全員で一歩を踏み出しましょう。

ICT機器を使う必然性

令和の日本型学校教育

- ・個別最適な学びと協働的な学び(学習指導要領 総則 第4則 教育課程の実施と学習評価)
主体的・対話的で深い学び(学習指導要領 総則 第3則 児童の発達と支援)
- ・探究的な学び(総合的な学習の時間)

2025年度デジタル教科書普及率100%

国

すくすくウォッチや学力調査の結果に基づいた学力向上
・スクールエンパワメント推進事業

府

校内研究と同じ方向

東 小
・自分に合った方法で学ぼう～問い続け、共に学ぼう～
→ICT機器を効果的に活用した授業づくり

共通理解

はじめの一步(まだまだ不慣れな先生へ)

・単元計画にタブレットを組み込もう

△いきなりできるのは達人だけです。

パターン化＝定着 です。単発ものではなく計画的に。

・45分授業の中で15分程度

△いきなり30分以上取り入れられるのは達人だけです。

タブレットをうまく利用して、効果的な学びをめざしましょう。

・規律があつてのICT

△「タブレットで遊んでいます。」「授業が進みません。」では本末転倒です。

91%が前向きです。みんなで前向きを続けられるルール作りをお願いします。



デジタルシティズンシップに則ったルール作り

情報モラルールの作成(6年生 総合的な学習の時間 全3時間)

- 1.効果的な活用について考えて、ジャムボードに出し合う
- 2.班ごとに「授業(個人)」「授業(みんな)」「休み時間」「家庭」に分ける。
- 3.«正しく」「うまく」を意識したポスターを作る



最後に、、、

今日見ていただくのは、

スマスク公開授業

一人ひとりが輝く学校
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」～



どの子も安心し、
楽しく学べる居場所づくり

一人ひとりの子どもに寄り添い、
ていねいな支援と対応

ご清聴ありがとうございました。

この後の予定

14:00～ 授業参観 スマスクW.Gの教室(他の学年の授業も参観いただけます)

2年5組 生活科「もっとしりたい たんけんたい」

3年5組 国語「自分の考えを伝えよう」

6年2組 総合的な学習の時間「東SDGsプロジェクト」

15:05～ ご講演(大阪大学大学院 西森年寿教授)

16:00～ 分科会

低学年 3年1組(2年5組の授業について)

中学年 3年5組(3年5組の授業について)

高学年 3年3組(6年2組の授業について)

